

帝王切開分娩時の家族立ち合い

大阪母子医療センター産科では、皆さまの大切なお産をスタッフ全員でサポートし、お産がより良い思い出となるように取り組んでおります。新しい家族の誕生をご家族で共有できるようにと考え、通常の面会とは別に、帝王切開後、産褥病棟において産婦さんをご家族の時間を持てるようにしています。

【考え方】

帝王切開分娩時は、パートナーは蘇生室で新生児との立ち会いを行っていますが、これまで（2024年5月末まで）は産婦さんとは手術室から病室へ戻るまでの廊下でしか面会できていませんでした。

そこで、帝王切開分娩時の“立ち合い”として、**病室**で産婦さんをご家族の面会時間を設けます。但し、赤ちゃんの状況により、お母さまの病室で赤ちゃんも一緒に立ち合えるとは限りません。

- (1) 帝王切開分娩後、産婦さんとの面会ができるのはパートナー、上のお子様、産婦さんのご両親です。
- (2) 帝王切開分娩後の病室は、診察および管理上の理由で限られた個室もしくは2人部屋と決まっています。そのため立ち合い面会時間は15分程度とします。面会中は静かにお過ごしください。
- (3) 夜間（20時～翌朝8時）の帝王切開分娩で2人部屋の一方に患者さんが居られる場合は面会できません。
- (4) 手術後の状況によって、診察や管理上の理由で面会のお断りや途中退室をお願いする場合があります。
- (5) 上のお子様の入室に際しては、以下の内容を確認させていただきますのでご了承下さい。

※**上のお子様**とはうまれる赤ちゃんにとって続柄が兄や姉になる方を意味します

- ① 「上のお子様と帝王切開後の面会を希望する」またはお考え中の方は、妊婦健診の際、相談室で上のお子様の母子手帳をご持参ください。**予防接種歴**を確認致します。
- ② 予防接種歴がない、母子手帳で確認できない、不明な場合は面会できません。
- ③ 20週頃の妊婦健診の相談室で母子手帳の持参を忘れた方は、以降の妊婦健診の相談室で、助産師までご提示下さい。
- ④ 事前の確認なく、分娩当日にご持参されても対応できませんのでご了承下さい。
- ⑤ 未就学児には同伴者が必要です。同伴者はパートナー・産婦の父母のうち1名でお願いします。
- ⑥ 一度に入室できるのはパートナー及び未就学児の同伴者の大人2名までと、お子様（同伴者が責任をもって面倒がみられる人数）とします。途中での交代はできません。
- ⑦ はしか（麻疹）・風しん・水ぼうそう（水痘）の予防接種がお済みでないお子様の入室はできません。
- ⑧ 入室前お子様の感染症問診票（別紙）の記入と体温測定をお願いします。体温 37.5 度以上の場合や問診票質問項目 2～4 に ☒ が入る場合は入室をご遠慮して頂きます。
- ⑨ 病室内での飲食はできません。
- ⑩ 病室内ではマスク着用をお願いします。
- ⑪ お子様の行動には、同伴者が責任をもって対応をして下さい。他の患者さんがいらっしゃる中での面会になります。お子様がぐずりだした場合などは退室していただきます。